

# 今治市デジタル未来戦略 策定に向けて

2022年8月24日有識者会議（抄録）

今治市 未来デジタル課  
株式会社中国四国博報堂

# アドバイザーボード

有識者に8月時点での「デジタル未来戦略 実施戦略」素案への意見をお聞きしました。

## 山本 寿 Tamotsu Yamamoto

元・ソフトバンク 今治市大三島在住 農業経営



1999年京セラコミュニケーションシステム株式会社に入社し、シンガポールを勤務地として、東南アジア/オセアニアへの3Gサービス事業展開に従事。2006年ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社に入社し、イギリスやドイツ、米国シリコンバレーを拠点に、Xperia他のグローバルモデル商品開発/市場導入の責任者として従事。2013年ソフトバンク株式会社に入社、米国を拠点とし、Sprint（アメリカの通信会社）との提携シナジー創出に向けた業務や、グローバル企業/スタートアップ（GE、WeWork、Slack、Pingan等）との事業開発に従事。2022年ソフトバンクを退職、5月より今治市大三島に移住し、新規就農/農業スタートアップ設立準備中。

## 國信 健一郎 Kenichiro Kuninobu

ニューラルポケット株式会社 デジソリューション事業本部 理事



1990年第二電電株式会社入社（現KDDI）、2013年Wireless City Planning株式会社 技術本部長、2016年ソフトバンク株式会社 研究開発本部 本部長を歴任し、技術部門のトップとして通信インフラの固定系や移動体通信の企画から構築まで幅広く実践。2018年同社IoTエンジニアリング本部 副本部長として、自治体、企業向けに5G、IoT、AIなどを活用した技術コンサルを実践。2022年同社を退職し、ニューラルポケット株式会社 デジソリューション事業本部 理事に就任し、高品質なAI開発・サービスを幅広く展開し、暮らしやすい便利な社会の実現を目指して実践している。

## 藤井 秀樹 Hideki Fujii

株式会社クロス・デジタル・イノベーション 代表取締役



1996年東京大学工学部産業機械学科卒 同年株式会社野村総合研究所に金融業界エンジニアとして入社。その後、ジェミニ・コンサルティング・ジャパン（現PwC Strategy&）、AIG、プルデンシャル生命保険、メットライフアリコ生命保険、チューリッヒ・ライフ・インシュアランス・カンパニーリミテッド（日本支店COO）、EY Advisory、パクテラ・コンサルティング・ジャパン代表取締役社長などを歴任。特に保険業界における様々な課題の分析・解決をリードしてきた豊富な経験を活かし、2020年に株式会社クロス・デジタル・イノベーションを設立。

## 安田 豊 Yutaka Yasuda

元・KDDI研究所会長 FM TANABE 取締役会長



1975年京大大学院電子工学科修士課程了、同年KDD入社。技術部門のトップとして2003年KDDI執行役員au技術本部長、2005年技術統括本部長、2011年KDDI研究所会長などを歴任。退職後の現在は、和歌山県田辺市にあるコミュニティFM局、エフエム田辺の取締役会長として地域メディアの経営を実践している。

## 北出 宗治 Muneharu Kitade

AWL株式会社 代表取締役社長兼CEO



1978年北海道苫小牧市生まれ。大学在学中からインターネットビジネスを始める。米コンサルティング会社（D.C.）、米レコード会社（N.Y.C）にてWEBマーケティング&コンサルティングを担当。GABA社のIT部署の立ち上げに参画。WEBマーケティング部を統括し、同社の上場貢献。その後、ライブドア社にてメディア事業部マネジャーとして多数の事業立ち上げを経験したのち、2015年に北海道大学川村教授との出会いをきっかけに、AIの社会実装を推進すべく、AWL株式会社（旧AI TOKYO LAB（株））を創業。

## 牧野 クレグ Craig Makino

株式会社イマーシブ 代表取締役CEO



パナソニックデジタルコミュニケーション（PDC）を経て、イマーシブ（旧社名ドットシー）を創業。20年におよぶデジタルサイネージ、WEBデザイン、インタラクティブデザインの最前線で培った技術と経験から生み出した新しい没入体験でビジネス、観光体験、教育をはじめ様々な分野でDX（デジタルトランスフォーメーション）を加速する圧倒的なデジタル体験を提供。独自開発の没入体験型映像システム「Immersive Engine」を開発し複数のプロジェクトにて納入、実運用している。

## 8月24日有識者会議 抄録

### ● 藤井委員

- ・ ◎基本的に問題なく、よくできている。どこも同じようなこと、特に差別化をどうするか、考えている
- ・ ▲WEB3.0、NFT、メタバースについては活用視点として盛り込んでどうか

### ● 山本委員

- ・ ◎内容はよくできている。
- ・ ▲しかし、委員がみな40代以上の男性ばかりというのは好ましくない。チームにもっと女性の声が必要。
- ・ ◎その一方意思決定の当事者※が女性であるのはとてもよい。（※デジタル未来推進プロジェクトチームメンバー）

### ● 北出委員

- ・ ◎心地好い暮らし、という目標についてエビデンスが形成されており、計画自体はよい
- ・ ▲具体化の段階でITリテラシーの違いによって心地好さに差が生まれてくる課題をどうするか
  - SNSなどのグローバルで普及したものは、標準化しているだけあり、ある程度万人に指示される内容となっている

### ● 國信委員

- ・ ◎内容は前職で昨年かかわっていたこともあり、問題ないと判断。
- ・ ▲個別の視点として今治市はコンテンツが豊富なので、もっと生かしていくことはできないのか（たとえばFC今治）
  - 新都市スタジアムのことなどを活用し街中と新都市の連携、西条・新居浜といった東予地区全体での広域連携も視野に

## 8月24日有識者会議 抄録

### ● 安田委員

- ◎全体像に違和感はない。つながりの再創造に向けてむしろデジタルはその活性化を促進する性格もある
- ▲移住者などとの交流促進にもっとデジタルを使いターゲットを広げてはどうか
  - 今治市には源平争乱にさかのぼる文化遺産もあるなど、外からみて魅力的なコンテンツがたくさんある
  - 外からみえている、中の人気づいていない、それらの発掘を心がけていただきたい

### ● クレック委員

- ◎内容に違和感はない。
- ▲地方の人がITリテラシーが低いという問題は、北米の場合はもっと強く、具体的なインセンティブを与えて解決している
  - 当事者がやりたくないことでもインセンティブがあれば、周囲が促してやっていただくなどのことも期待できる

### ● 榊原委員

- ◎心地好い暮らし、を目指していくこと、ソーシャルキャピタルに関するニーズが調査してもわかった、という結論はよい
  - アナログなDX戦略という目標についてもわかりやすくよい
  - 当事者がわくわくすることを目指していく、ハコでなく活動を主語にというアイデアもよい。
- ▲最終的なゴールは何になるか、DXで具体的にどうするのか、ということが見えてくるとよい